

産業標準案作成対象テーマの審議について

日本産業規格（JIS）の制定、改正又は廃止のための産業標準案（以下、JIS 案という。）の作成に着手するに当たっては、当会認定産業標準作成機関 JIS 案作成規程に基づき、当該 JIS 案作成対象テーマが適切であることについて、主務大臣による事前調査、及び JSA 事務局による“JIS 案の作成開始要件”を満たすことの事前確認を経て、産業標準作成委員会にお諮りすることとなっております。

つきましては、次ページ以降の JIS 案作成対象テーマについて、理由（必要性）及び期待効果、JIS 案の作成開始要件への適合状況、作成開始予定などを記載しておりますので、JIS 案の作成に着手してよろしいかご審議をお願いいたします。また、産業標準作成委員会の下に JIS 素案の調査審議及び作成を行うための WG を設置することについても併せてご審議をお願いいたします。

なお、字句等編集上の修正については、産業標準作成委員会事務局に一任いただきますようお願いいたします。また、ご承認いただいた JIS 案作成対象テーマは、利害関係者に公表するために JIS 作成予定一覧表として JSA ウェブサイト掲載いたします。

※選定基準 3（産業標準化の利点・欠点）各コードの内容につきましては、
下記リンク先の 5～6 ページにてご確認ください。

「産業標準案等審議・審査ガイドライン」

URL <https://www.jisc.go.jp/jis-act/pdf/shingishinsa-guideline.pdf>

産業標準案作成対象テーマ一覧(制定)

認定機関	産業標準作成委員会	制定／改正／廃止	規格番号 (制定の場合は、仮の番号)	JIS案の名称	JIS案の英文名称	制定する理由(必要性)	期待効果	規定項目又は改正点	制定・改正に伴う廃止JIS	対応する国際規格番号及び名称	対応する国際規格との対応の程度	選定基準1 (JIS法第2条の産業標準化の対象)	選定基準2 (JIS法第1条の法律の目的)	選定基準3 (産業標準化の利点・欠点)	選定基準4 (国が主体的に取り組む分野の判断基準)	選定基準5 (市場適合性に関する判断基準)	JIS素案作成委員会(WG)	作成開始予定
JSA	10 金属・無機材料	制定	Z3960	アーク溶接作業用カーテン、ストリップ及びスクリーンの安全要求事項	Transparent curtains, strips and screens for arc welding processes	アーク溶接作業は、強烈なアーク光が発生するが、このアーク光による健康被害を作業者本人及び周辺の作業者に生じさせないために、遮光カーテンなどが用いられている。しかし、遮光カーテンなどがアーク光をどの程度遮断しているか、また、どの程度遮断したものとすべきかの規定が標準化されていなく、適切な遮光カーテンなどが使用されているのか、安全な作業環境が担保されているのかが不明確な状況となっている。このため、作業従事者に健康被害が発生するなどの問題が生じている。このような問題に対応するため、国際規格では、2014年にISO 25980 (Health and safety in welding and allied processes－Transparent welding curtains, strips and screens for arc welding processes)が制定され、その後2023年に改訂されている。 このような状況から、我が国においても、作業従事者の健康被害を抑止するため、ISO 25980を基とし、アーク溶接作業時の安全な作業環境を確保するため、溶接カーテンなどの安全要件について標準化する必要がある。	この規格を制定することで、この規格の安全要求を満たしている遮光カーテンなどのアーク光の遮断設備が普及することによって、アーク光による皮膚炎、電気性眼炎及び盲目障害などの健康被害を防ぐことが期待でき、労働環境の安全性向上に寄与することが期待できる。	主な規定項目は、次のとおり。 ・適用範囲 ・引用規格 ・用語及び定義 ・透過率 ・紫外光放射性 ・炎の広がりに抵抗性 ・縫合・アイレット強度 ・試験・計算法 ・表示 ・使用上の情報	－	ISO 25980:2023 Health and safety in welding and allied processes－Transparent welding curtains, strips and screens for arc welding processes	IDT	第2条の該当号：1(品質) 対象事項：アーク溶接用遮光カーテン	法律の目的に適合している。	利点： ア、カ 欠点： いずれも該当しない。	－	国際標準をJIS化するもの	一般社団法人日本溶接協会のWG	2025年10月